

⑥障害飛越

障害から任意の位置に犬を紐無しで伴い脚側停座させた後

審査員の指示により犬に障害を飛越させる。

犬が飛越したら指導手は、声符「マテ」を命じ

審査員の指示により指導手は障害を迂回して犬のもとに戻り

審査員の指示で脚側停座を命ずる。指導手は、犬を伴って障害の前に立ってから飛越後声符「マテ」の指示で犬が停止するまで、その位置を変えてはならない。

⑦休止

指導手は所定の位置に犬を伏臥させ

犬の方を振り返ることなく審査員の指示する遮蔽下に隠れる。

犬の側には何も置いてはならない。審査員は指導手が隠れる。

指導手は3分後、審査員の指示により犬のもとに戻り

審査員の指示で脚側停座をさせ作業を終わる。